

む。此の三葬は、別に請負業者に託して執行せしむと云ふ。死者所有の物品は、其の一半を寺院に布施し、他の一半は賣却して讀經の費に充て、喪服の男女は百日間梳沐せず、又美服を着けず、只管冥福を祈ると。然れども、近時此の三つの法式漸く廢れ、種々變更せる儀式を舉行すと聞く。

滿人漢人の葬儀服喪は、支那本部と異なること無きに因り敢て茲に贅せず。

第九節 祝祭禮節

回部の歳末

回部の各地方には、例年三大祭あり。其の内、歳末の祭を最も重しとす。此の祭時三週間は、男女日中食せず。嚴に齋戒して經を誦し、禮拜最も謹む。其間或は平日、崇信する陵廟に詣で、以て自ら頸項の皮膚を刺し、血を流して神靈を祭る者あるに至ると。

此外、毎週金曜日を祭日とす。又毎日五回の禮拜を行ふ、即ち(一)日出前(二)午後(三)日没前(四)日没後(五)午前恭しく亞刺比亞メツカの方に向ひて讀經叩頭す。以上の内、日没の時に行ふものを、以て最も重しとす。通例人の多くは、此の一度に限る。